

# テーマ「子どもたちを守るための緊急アピール」

## 副題「ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について」

実施主体：群馬県館林市教育委員会

協力団体：群馬県館林市小学校長会、館林市中学校長会

群馬県館林市小中学校PTA連合会、館林市子ども会育成団体連絡協議会

群馬県館林市青少年育成推進員連絡協議会、館林市青少年センター補導員会

### 《取組の概要》

本市では毎年、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒及び保護者を対象に、子どもたちの携帯電話やスマートフォン等にかかわる実態調査を行っている。本事業は、その調査結果から明らかになった問題の解決に向けて、館林市教育委員会と関係機関とが協力して取り組んだ実践である。具体的には、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等の安全な使用を目指して、関係機関7団体による「子どもたちを守るための緊急アピール」を提案したものである。この提案を契機に、児童生徒が問題を自分のこととして考えられるようにするとともに、児童生徒の主体的な取組や問題の解決に向けた気運の醸成を図っていくものである。

## 1 本事業に取り組んだ理由(課題を含めて)

毎年、本市において、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒及び保護者を対象に、子どもたちの携帯電話やスマートフォン等にかかわる実態調査を行っている。その調査結果から、本市の小・中学生の携帯電話やスマートフォンの所有率が年々増加する傾向にあり、中学3年生では全国平均を大きく上回っていることが分かった。さらに、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等にかかわる使用時間や交流サイトにおけるトラブルから、学習面や友人関係、生活習慣など様々な問題が起きていることも明らかになった。これらの問題の解決は、本市における喫緊の教育課題であり、具体的な方策を講じていく必要があった。

しかし、児童生徒は、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等をあらゆる機会に、あらゆる場所で使用する。また、使用する時間帯や一日の使用時間も様々である。このような実態に対して、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等の安全な使用に向けて、学校だけの指導では困難を窮め、限界もあった。

そこで、本市では子どもたちを取り巻く様々な問題の解決に向けて、大人が協力して子どもたちを守っていくことが重要であると考え、館林市教育委員会をはじめ、関係団体が協力した本事業の取組を展開することとした。

## 2 実施スケジュール

年	月 日	内 容
平成 26年	○ 5月 8日～ 5月20日	○「平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査」の実施
	○ 7月 4日	○「平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査」の結果報告と関係資料の活用
	○ 7月31日	○定例教育委員会で【子どもたちを守るための緊急アピール】の取組について協議

年	月 日	内 容
平成 26年	○ 8月25日	○校長会議で、問題の解決に向けた児童生徒の主体的な取組について 依頼
	○ 8月28日～ 10月 6日	○関係機関に【子どもたちを守るための緊急アピール】の取組の説明 と協力依頼
	○11月	○各学校の児童生徒の主体的な取組状況を集約
	○12月 8日	○「【子どもたちを守るための緊急アピール】ケータイ・スマホ・ ゲーム機等の安全な使用について」の通知
平成 27年	○ 1月27日	○リーフレット「情報通信の安心安全な利用のための標語」の配布
	○ 1月28日	○「子どもたちを守るための緊急アピール」の通知に伴う自校の取組 について情報交換
	○ 2月 5日～ 3月19日	○関係機関に【子どもたちを守るための緊急アピール】の通知に伴う 取組状況について経過報告
	○ 2月19日	○「館林市いじめ防止子ども会議」の開催

### 3 事業展開

#### (1) 「平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査」の実施

- 調査対象 全小学校6年生と全中学校3年生と調査対象児童生徒の保護者  
【図1】
- 調査期間 平成26年5月8日～5月20日

(3) あなたは次のものを持っていますか。当てはまるものをすべて選んでマークしてください。

<input type="radio"/> 自分専用のケータイ（携帯電話）	<input type="radio"/> 自分専用のスマホ（スマートフォン）
<input type="radio"/> インターネットが使える自分専用のコンピュータやタブレット	<input type="radio"/> インターネットが使える携帯型ゲーム機
<input type="radio"/> インターネットが使える携帯型音楽プレーヤー	<input type="radio"/> どれも持っていない

(4) あなたは次のそれぞれについて、1日にどのくらい利用していますか。

	利用していない	30分以内	1時間以内	2時間以内	3時間以内	4時間以内	4時間を超える
1 ケータイ・スマホ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 コンピュータ・タブレット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 ゲーム機・音楽プレーヤー	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

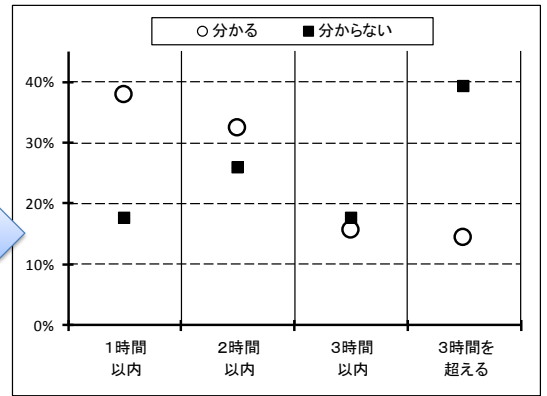
【図1 平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査用紙（児童生徒用）の一部】

#### (2) 「平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査」の結果報告と関係資料の活用

- 7月校長会議で調査結果の報告及び関係資料の活用について依頼
- 各学校へ送付した関係文書
  - ・「館林市全体」と「自校用」の2種類の結果を送付【図2】
  - ・「子どもケータイ・スマホ 家庭で話し合いましょう。」【図3】

2 あなたは次のそれぞれについて、1日にどのくらい利用していますか。

		勉強が…	1時間以内	2時間以内	3時間以内	3時間を超える
①	ケータイ・スマホ	分かる	37.7% ▲**	32.4%	15.6%	14.3% ▽**
		分からない	17.5% ▽**	25.8%	17.5%	39.2% ▲**



【図2 平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査結果の一部】

〔調査結果より〕

- ケータイ・スマホ等の所有率が年々増加している。
- 中学校3年生の所有率は全国を大きく上回る。
- 中学校3年生では、ケータイ・スマホの利用時間が増えると勉強が分からないと回答する生徒の割合も増加している。

保護者の皆様へ

## 子どものケータイ・スマホ 家庭で話し合しましょう。

館林市教育委員会

◆小・中学生にケータイ・スマホは、本当に必要でしょうか？

◆ケータイ・スマホの危険性、ご存知ですか？

被害者にも… 加害者にも… 依存症にも…

子どもの悩み — ケータイ・スマホ・ゲーム機等の悩み！

- メールが届いて（遅くても）返事をしないと、翌日から無視や仲間外れにされてしまう恐怖心⇒「既読無視（スルー）」から始まる仲間外れや無視などのトラブルやいじめ。
- ケータイ・スマホ・ゲーム機等の長時間の使用で学力低下。
- メールの返信や会話（タイムライン）が気になり、やめたけれどやめられない。⇒勉強に集中できない。夜更かしによる睡眠不足などの生活習慣の乱れ。

親の悩み

- 誰とケータイ・スマホで電話やメールをしているのか分からない。
- ひんばんに着メロをダウンロードしている。料金が加算されている自覚がない。

どうしても子どもにケータイ・スマホを持たせる必要があるなら…

家庭で話し合い「我が家のルール」を作りましょう！

**どんな時に使う**  
～時間が心配～

- 食事中は使わない
- 家ではリビングで使う
- 充電器はリビングにおく
- 夜 時以降は利用しない
- 利用は1月 分まで
- 自分の部屋に持ち込まない

**なんのために使う**  
～やりとりが心配～

- 自分の個人情報を書かない
- 悪口を書き込まない
- 迷惑メールに返信しない
- チェーンメールを転送しない
- 知らない人からメールがきたら保護者に報告する

**使うための約束**  
～料金が心配～

- 明細で料金を確認する
- 料金が 円を超えた翌月はケータイを使用しない
- 着メロ、音楽、ゲーム等は勝手に会員登録やダウンロードしない

そして、お父さんに身に付けたい 4つの力

**ルール作りのポイント**

- ★危険性を子どもとともに理解し、ルール作りの必要性を伝えましょう
- ★一方的なルールにならないように、必ず子どもと話し合いながら決めましょう
- ★ルールを決めたあとは、しっかり守られているか、必ず確認しましょう

判断力 サイトは安全か、危険か判断する力

自制力 危険かも…試してみたい気持ちに負けない力

責任能力 ネット上での自分の言動に責任をもつ力

想像力 未然に危険を予想・予測する力、相手を傷つけないか考える力

【図3 「子どもケータイ・スマホ 家庭で話し合しましょう。」の一部】

### (3) 関係機関に【子どもたちを守るための緊急アピール】の取組に向けて説明と協力依頼

- 7月31日「定例教育委員会」
  - ・多くの関係機関が協力して、子どもたちを守るという本事業の方向性を決める。
- 8月25日「小・中学校の校長会」で本事業の説明と次の内容を依頼
  - ・ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用に向けて、問題の解決に向けた児童生徒の主体的な取組
- 関係機関に次の日程で協力依頼
  - ・ 8月28日 「館林市子ども会育成団体連絡協議会」
  - ・ 9月18日 「館林市小中学校PTA連合会」
  - ・ 9月 5日 「館林市青少年センター補導員会」
  - ・ 10月 6日 「館林市青少年育成推進員連絡協議会」

〔関係機関への説明内容〕

- 「平成26年度館林市ケータイ・スマホ等実態調査」の結果
- ケータイ・スマホ・ゲーム機等に関する他市町村の取組を紹介
- 「【子どもたちを守るための緊急アピール】ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について」の通知内容を説明
- 今後の取組について説明

(4) 各学校の児童生徒の主体的な取組状況を集約

- 7団体による大人の一方的な提案にならないように、各学校における児童生徒の主体的な取組状況を定期的に把握し、【子どもたちを守るための緊急アピール】の通知の時期について検討。・・・啐啄同時  
※そったくどうじ・・・絶妙なタイミングを示す表現

(5) 「【子どもたちを守るための緊急アピール】ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について」を通知

- 平成26年12月8日に館林市立小・中学校16校に通知
- 配布文書
  - ・「【子どもたちを守るための緊急アピール】ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について（提案）」【図4】
  - ・「子どもケータイ・スマホ 家庭で話し合しましょう。」【図3】

〔通知に際して各学校に依頼した内容〕

- 「ケータイ・スマホ等実態調査結果」や危険性、児童生徒が抱えるトラブルや悩み等を具体的に示し、児童生徒に問題提起すること。
- 児童生徒が問題の解消に向けて真剣に話し合う集団決定の場を設ける等、児童生徒の主体的な取組を促すこと。

館林市小・中学校 保護者 様

館林市教育委員会	教育長	□□	□□
館林市小学校長会	会長	□□	□□
館林市中学校長会	会長	□□	□□
館林市小中学校PTA連合会	会長	□□	□□
館林市子ども会育成団体連絡協議会	会長	□□	□□
館林市青少年育成推進員連絡協議会	会長	□□	□□
館林市青少年センター指導員会	会長	□□	□□

**【子どもたちを守るための緊急アピール】**  
ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について（提案）

寒冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さて、本市では、毎年小学校6年生と中学校3年生の児童生徒及び保護者を対象に、子どもたちの携帯電話やスマートフォン等にかかわる実態調査を行ってまいりました。調査結果から分かったことの中から特徴的な中学3年生の実態と小学生や中学生が抱えているトラブルや悩みについてお知らせするとともに、子どもたちを守るためのルールを提案します。

**【調査結果】**・・・ケータイ・スマホの利用時間が増える  
と勉強が分からないと回答する生徒の割合も増加していることが分かります。（中学3年）

あなたは、ケータイ・スマホを1日にどのくらい利用していますか。	勉強が分かる	37.7%	32.4%	15.6%	14.3%
	勉強が分からない	17.5%	25.8%	17.5%	39.2%

**【トラブル・悩み】**・・・ネットいじめや生活の乱れ

- メールが届いて（夜遅くても）返事をしないと、翌日から無視や仲間外れにされてしまう恐怖心  
⇒「既読無視（スルー）」から始まる仲間外れや無視などのトラブルやいじめ
- ケータイ・スマホ・ゲーム機等の長時間の使用による学力低下
- メールの返信や会話（タイムライン）が気になり、やめたいけどやめられない。  
⇒勉強に集中できない。夜更かしによる睡眠不足などの生活習慣の乱れ
- 誰とケータイ・スマホで電話やメールをしているの分からない。（特に親の悩み）

**【提案】**

交流サイトをめぐるトラブルから子どもたちを守るために  
館林市内の小・中学校では

- 午後9時以降・・・保護者は、ケータイ・スマホ・ゲーム機等を預かります。
- 午後9時以降・・・児童生徒は、ケータイ・スマホ・ゲーム機等は使いません。

**★まめ知識★** 交流サイトとは・・・

SNS（ソーシャルネットワーキングサービスの略）登録したユーザ同士が、メッセージや写真、動画等をアップロードし、相互にコミュニケーションをとることが可能なサービス。その一部分を紹介します。【「○」一般的内容 「●」問題点等】

LINE（ライン）	○アドレス帳の情報でつながる無料通話アプリ。グループを作成し交流する。 ○同様な無料通話アプリに「カカオトーク」がある。 ●メッセージを読むと「既読」と表示されるため、返信をしない「既読無視（スルー）」とトラブルの原因になる。
Facebook（フェイスブック）	○実名で登録して交流する。個人情報に登録すれば誰でも無料で利用できる。 ●写真を公開したことで、インターネット上に写真が出回ったり、住所が特定されたりする可能性がある。
Twitter（ツイッター）	○投稿するスタイル（つぶやき）。ニックネーム利用が一般的。 ●イタズラや違法な写真を投稿し、大きな問題に発展した事例がある。
Mobage（モバゲー）	○仮想の世界のコミュニケーションがとれる。ゲームのサービス。 ●ゲームに夢中になりネット依存になったり、大人が子どもになりすまし出会い系被害にあったりした事例がある。
ブログ	○ウェブログ（Weblog）の略。自分の意見や感想を日記風に記す。 ●閲覧者が自由にコメントできる。批判的な書き込みが投稿される場合もある（ブログが炎上）。
掲示板	○参加者が自由に文章などを投稿し、書き込みを返していく。 ○「2ちゃんねる」が有名 ●「LINE ID交換掲示板」「学校裏サイト」など、青少年に有害な掲示板も多数存在する。（誹謗中傷・個人情報の漏洩になる場合がある）

※ 学力向上の面だけでなく、**青少年の健全育成**の面からもご協力をお願いします。

- ネット上の相手はどんな人だか分かりません。危険なサイトにアクセスしてしまう可能性があります。
- 「無料サイト」「無料ゲーム」のサイトから有料サイトに引き込まれてしまうことがあります。
- ネット依存から、ケータイ・スマホが手放せない危険性があります。
- 無料アプリの利用から個人情報盗まれることもあります。

◆ 学校と家庭と地域そして子どもたちが力を合わせ、真剣に一歩を踏み出しましょう。  
◆ ご家庭でも親子で、この提案について真剣に話し合ってください。ご協力をお願いします。

【図4 「子どもたちを守るための緊急アピール」ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用について】

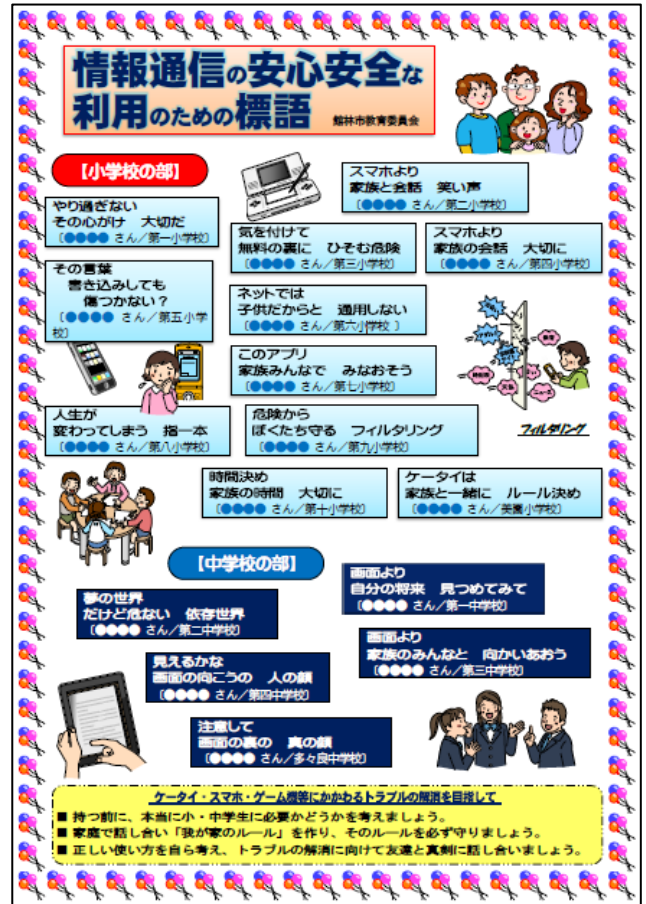


## (6) リーフレット「情報通信の安心安全な利用のための標語」の作成

- 各小・中学校から選出された代表作品を用いて、リーフレット「情報通信の安心安全な利用のための標語」を作成。  
平成27年1月27日に各学校へ配布。  
【図5】

標語の作成を通して、児童生徒がケータイ・スマホ・ゲーム機等に係る問題を自分のこととして考えられるようにするとともに、児童生徒の主体的な取組や問題の解決に向けた気運の醸成を図っていく。

- 〔配布に際して、各学校に依頼した内容〕
- 中学校入学説明会や保護者会等で活用すること。
  - 児童生徒に配布する場合は、資料を基にした話し合いを家庭でもつように指導すること。
  - その他として、市内すべての公民館に掲示を依頼。



【図5 情報通信の安心安全な利用のための標語】

## (7) 「子どもたちを守るための緊急アピール」の通知に伴う自校の取組について情報交換

- 平成27年1月28日「第2回小・中学生指導担当者会議」において情報交換を実施。
- 各校の取組状況を次の別紙様式にまとめて持参。

(別紙様式)

「子どもたちを守るための緊急アピール」の通知に伴う自校の取組

学校名 館林市立 学校

※「子どもたちを守るための緊急アピール」の通知に伴う、自校の取組について回答する。  
〔中心の児童生徒・実施学年・取組の概要・アンケートの実施など〕

- 児童生徒の取組などについて
- 保護者に対する取組や啓発活動などについて  
⇒児童生徒や保護者に変容などはあったでしょうか。また、その変容や実態をどのように把握しましたか。

以上のような内容について、情報提供をお願いします。

- 中心的な児童生徒 ○実施学年 ○緊急アピールの配布に伴う取組
- 変容とその把握方法 など

## (8) 関係機関に【子どもたちを守るための緊急アピール】の通知に伴う取組状況について経過報告

- 関係機関に、取組状況と児童生徒の変容について経過報告を次の日程で行った。
  - ・ 2月 5日 「館林市青少年育成推進員連絡協議会」
  - ・ 2月 24日 「館林市子ども会育成団体連絡協議会」
  - ・ 2月 26日 「小・中学校長会」
  - ・ 3月 6日 「館林市青少年センター補導員会」
  - ・ 3月 19日 「館林市小中学校PTA連合会」

## (9) 「館林市いじめ防止子ども会議」の開催

- 平成27年2月19日に開催。
- テーマ「考えよう、ケータイ・スマホ等のネットいじめ」
- 参加者 市内小・中学校（代表児童生徒2名）  
市内小・中学校の担当教員  
関係機関、保護者、教育委員会



【班別協議の様子】

### 〔協議の様子〕

前半は、各校のネットいじめの実態や現在学校で取り組んでいること、これから取り組みたいこと等について、持参資料を基に情報交換をした。

後半は、課題に対して、私たちにできることは何かを協議した。また、来賓（9名）や保護者も各班に入り、一緒に協議をした。

各班で話し合った内容を各学校へ持ち帰り、さらに各学校でのいじめ防止活動を発展させていくことを約束した。

## 4 事業の成果(効果)

### 【小学校】

主な取組

#### 【児童会本部等の取組】

- 児童会本部で自分たちにできる取組について話し合った。（ルール作りとその掲示を予定）
- 児童集会等…保健委員会でゲームの悪影響について劇や説明を行った。

#### 【学級活動】

- 「緊急アピール」を基に、学級活動で危険性や問題点、必要性について話し合った。

#### 【標語・スローガンの作成】

- 全児童が標語を作成し、代表作品を廊下に掲示したり、全校集会で紹介したりした。

#### 【保護者への啓発等】

- 学校公開日等の取組、懇談会の取組、各種たより、ホームページの活用など

#### 【その他】

- 家庭学習の充実を図る中で、ノーテレビ・ノーゲームデーを積極的に取り組んだ。

## 【 小 学 校 】

主な 変容	<p><b>【家庭に関して】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「緊急アピール」を基に、親子で話し合い、新たなルールを決めた家庭や今までのルールを見直した家庭が多かった。</li> </ul> <p><b>【児童に関して】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■改善           <ul style="list-style-type: none"> <li>○1日当たりの使用時間が減った。 ○午後9時までなど、使用時間帯を決めたり、短くしたりした。</li> <li>○使用の曜日を決めた。（日曜日だけ使用や平日だけ使用 など）</li> </ul> </li> <li>■学級等の実態           <ul style="list-style-type: none"> <li>○クラス全員が守れそうな決まりを作り、クラスに掲示した。（週○時間以内。午後9時以降は使わない等）</li> </ul> </li> </ul>
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 【 中 学 校 】

主な 取組	<p><b>【生徒会本部等の取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各学級で話し合った結果を生徒総会で発表。その意見を生徒総会の資料と生徒会新聞に掲載した。</li> </ul> <p><b>【学級活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■全校一斉に、学級活動を実施。共通の指導案・ワークシートを活用して、スマホ等に関する課題や利用について話し合った。</li> </ul> <p><b>【標語・スローガンの作成】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■自分自身の課題を見つけ、改善の具体策を考えさせ、生活習慣の確立を目指す提言を書かせた。</li> </ul> <p><b>【保護者への啓発等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■各学年生徒指導担当が「緊急アピール」をベースにパワーポイントを作成し、学年保護者会（保護者の隣に生徒が座る）で説明した。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■毎週「3減運動」の振り返りシートを活用して、自分自身の取組状況を確認し、意識の向上を図っている。</li> </ul>
主な 変容	<p><b>【家庭に関して】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■学年保護者会后、様々な保護者から感謝の言葉があった。</li> </ul> <p><b>【児童に関して】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■改善           <ul style="list-style-type: none"> <li>○「緊急アピール」やそれ以前の継続的な取組から、スマホ等やSNSに関するトラブルが激減している。</li> </ul> </li> <li>■意識の高揚           <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が主体となって、きまりやスローガンを作成し、生徒自身がそれを守ろうとしている。</li> <li>○宣言の内容・・・家族とのきまりを守ることを誓います。 ・人権を損なうような書き込みや人のプライバシーを侵害するような使い方はしません。 ・使った時間以上に勉強しますなど。</li> </ul> </li> </ul>

## 5 事業を成功させるためのポイント

- 児童生徒は、携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等をあらゆる機会にあらゆる場所で使用する。そこで、学校と家庭、地域が児童生徒の実態と問題点を共通理解し、問題の解決に向けて共通実践していくことが重要であるとする。
- 関係機関に協力を得る際、関係機関の理事会や幹事会などに直接出向き、具体的な説明と協力依頼をした。この活動によって、すべての関係機関が実態を把握することができ、問題の解決に向けて、連携した取組を展開することができたとする。
- 大人の一方向的な通知では、本事業の取組は児童生徒に浸透しないと考える。そこで、ケータイ・スマホ・ゲーム機等にかかわる危険性や児童生徒が抱えるトラブルや悩み等について具体的に示し、児童生徒に問題提起をした。そして、児童生徒が問題の解決に向けて真剣に話し合う集団決定の場を設ける等、児童生徒の主体的な取組を促した。

## 6 今後の展開(継続・発展させていくために)

- 「子どもたちを守るための緊急アピール」の通知だけでは、ケータイ・スマホ・ゲーム機等の安全な使用に向けて、児童生徒の意識を保ち続けることは困難である。そのため、通知後に次のような取組を行った。

- ・すべての小中学校から標語を募り、リーフレットを作成した。
- ・各学校の取組について情報交換を行い、自校の取組に生かした。
- ・「いじめ防止子ども会議」を開催し、児童生徒が自校の取組を発表し、問題の解決に向けて話し合った。

これらの活動を通して、児童生徒の意識の高揚を図ってきた。今後も、問題の解決に向けて、各学校における児童生徒の主体的な取組と意識の高揚を図っていくために、意図的・計画的な取組を展開していきたいとする。

- 関係機関に協力を得るだけでなく、その後の各学校の取組と児童生徒の変容等についても経過報告を行った。そのことによって、すべての関係機関が現状を把握することができ、問題の解決に向けて、それぞれの役割を果たしながら連携した取組を展開することができているとする。今後も、定期的な情報交換の場を設け、共通理解を図りながら、児童生徒の現状に即した取組を展開していきたいとする。